



カメラ

カメラについて	128
フォトを撮影する	136
ムービーを録画する	143

カメラについて

有効画素数324万画素のCMOSカメラでフォトやムービーを撮影することができます。セルフタイマーを使った撮影や、オートフォーカス撮影（フォトの場合のみ）も可能です。

カメラでできること

画像を使用する



撮影した画像を待受画面や着信画面に使用したり、アドレス帳に登録することができます。

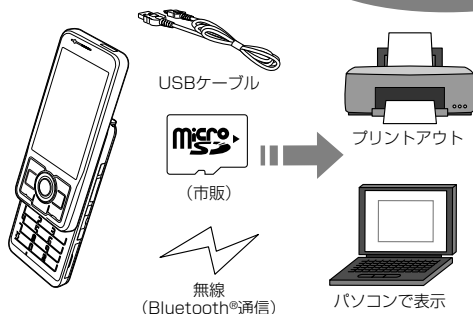
画像を送る



500KB以下の画像をEメールに添付して送信することができます。

カメラ

撮る※1



撮影した画像を、USBケーブルやmicroSDカード※2、Bluetooth®通信を利用してパソコンやプリンタに送ることができます。

Exif Print (Exif2.2) 対応
画像ファイルに記憶された撮影情報を印刷出力に反映させることができる、標準規格「Exif Print (イグジフ・プリント)」に対応しています。

Exif Print

PIMⅢ (PRINT Image MatchingⅢ) 対応
撮影したフォトは、そのままのイメージで印刷が可能な規格「PRINT Image Matching (プリントイメージマッチング)」に対応しています。
PIM対応プリンタを使うと、簡単な操作できれいに印刷することができます。



DPOF (Digital Print Order Format) 対応
撮影したフォトの中からプリントしたいコマや枚数などの指定情報をmicroSDカードに記録するための規格「DPOF (ディーポフ)」に対応しています。

DPOF


画像を表示・プリントする

- ※1 撮影前に、やりたいことに合った撮影／録画モードを選びましょう。
- ※2 本書では、microSD™メモ리카ードを「microSDカード」と記載しています。

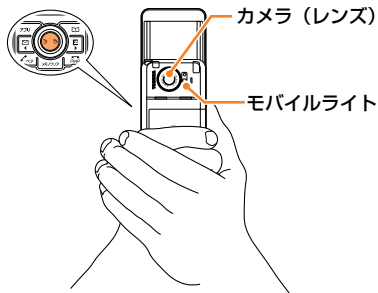
ご利用上の注意

- ・レンズに直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- ・暖かい場所に長時間置いていたあとで画像を撮影したり、保存したときは画像が劣化することがあります。
- ・カメラは非常に精密度の高い技術で作られています。中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
- ・レンズに指紋や油脂などがつくくと、ピントがあわなくなります。レンズが汚れたら、眼鏡拭き用などの柔らかな布で、優しく拭いてください。強くこするとレンズが傷つくおそれがあります。
- ・撮影時にはレンズや照度センサーに指や髪、ストラップ、TV用アンテナなどがつかないようにご注意ください。また、撮影時はTV用アンテナを収納してお使いください。
- ・電池残量が十分にあることを確認のうえ、撮影してください。電池残量がなくなり「充電してください」の表示が出ると、保存前の画像は未保存画像となります。
- ・通話中にカメラ機能は利用できません。
- ・暗い場所では光量が不足するため、画像が粗くなる場合があります。モバイルライトを点灯するか明るい場所で撮影してください。
- ・手振れにご注意ください。画像がぶれる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影を行ってください。特に室内など、光量が十分でない場所では手振れが起きやすくなりますのでご注意ください。また、被写体が動いた場合もぶれた画像になりますのでご注意ください。
- ・携帯電話のカメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合や、明るさにムラが出る場合があります。また、広角レンズを使用しているため、被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・非常に暗い場所での撮影では、青い点や白い点などが出ることがありますのでご了承ください。
- ・暗いところから明るいところへ移動したとき、画面が一瞬白くなることがありますが故障ではありません。画面の明るさが安定してから撮影してください。
- ・蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微少なちらつき）を感知してしまい、ちらつきやうすい縞模様などが出ることがありますが、故障ではありません。これは、地域設定※を変更したり、モニタ画面表示中やムービー録画中に \odot を押して、画像を明るく調整することで軽減できます。明るさを調整する際は、白飛び（被写体が白くなりすぎる）しないように明るさを調整してください。※お買い上げ時は、「自動補正」に設定されています。
- ・オートフォーカスでピントをあわせるときの音やシャッター音、録画開始音／終了音は「マナーモード」の設定に関係なく、常に音が鳴ります。音量は変更できません。
- ・高輝度の被写体や太陽光などを撮影した場合、正しく撮影できない場合があります。また、故障あるいは性能劣化、素子の褪色、焼付けを起こす原因となることがあります。このような条件での使用は避けてください。
- ・お客様が公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。
- ・モバイルライトを目に近づけて点灯させないでください。またモバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障害を起こす原因となります。
- ・ムービーを録画する場合は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、音声の品質が悪くなる場合があります。
- ・録画中の録音音量が大きすぎると、音がひずんでうまく録音できない場合があります。マイクを十分離して録音してください。
- ・次のような被写体に対しては、ピントがあわないことがあります。
 - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 光沢のある金属など明るく反射している被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 動きの速い被写体

上手な撮影のしかた

フォトやムービーを撮影／録画するときは、「」がディスプレイの左上に見えるように、向きを調整して撮影します。被写体をディスプレイ内に収めて、手振れしないように、両手でしっかりと持ってください。

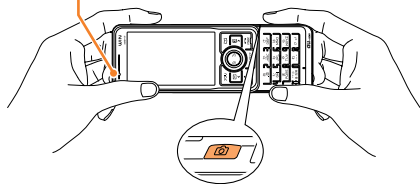
縦向きで撮影する場合



横向きで撮影する場合

※横向きで撮影する場合はレンズやモバイルライト、照度センサーにストラップや指がかかりやすくなりますのでご注意ください。ムービーも横向きで録画します。

照度センサー



- ・レンズやモバイルライト、照度センサーの位置を確認し、ストラップや指がかからないようにご注意ください。
- ・シャッター音が鳴ったあと、プレビュー画面が表示されるまでは本体を動かさないでください。

マクロ撮影について

標準撮影／マクロ撮影の切り替えができます。マクロモードに設定した場合、約10cmまで被写体に近づいて撮影できます。

フォトの場合は、オートフォーカス機能によって自動的にピントをあわせることができますが、ピントがあいにくい場合は「フォーカス設定」を「マクロ固定」に設定します。

ムービーの場合は、「マクロ切替」でマクロモードに設定します。

・マクロモードに設定したまま通常の撮影は行わないでください。適切なピントで撮影できません。

撮影／録画モードについて

撮影前に、お好みの撮影／録画モードに設定してください。

モード		特徴	
フォト	ケータイモード	フォトメールサイズ	他社の携帯電話へ送信するのに適した撮影モード 壁紙としての使用も可能です。
		壁紙サイズ	QVGAサイズの待受画面の壁紙などに使用するのに適した撮影モード 連写モードを使用できます。
		WVGA壁紙サイズ	待受画面の壁紙などに使用するのに適した撮影モード 連写モードを使用できます。
	PCモード	VGAサイズ	パソコンで表示するのに適した撮影モード プリントアウトも可能です。
		SXGAサイズ	L判サイズできれいにプリント可能
		UXGAサイズ	2L判サイズできれいにプリント可能
		ワイドサイズ	ワイドサイズのフォトを撮影
	QXGAサイズ	A4判サイズできれいにプリント可能	
ムービー	標準Sモード	au電話（Aシリーズ）へ送信するのに適した録画モード	
	標準Mモード		
	高品質Mモード	au電話（Wシリーズ）や3G携帯へ送信するのに適した録画モード	
	高品質Lモード		
	QVGAモード		
VGAモード	W54Tで表示するのに適した録画モード		

フォト画質設定について

撮影モードをPCモード（VGAサイズを除く）に設定した場合は、フォト画質を選択できます。100KBまたは150KBまで受信可能な携帯電話に対してSXGAサイズで撮影したフォトをそのままの画像サイズで送信したいときは、フォト画質を「メールモード」に設定してください。

○：添付可能 △：データサイズによっては添付可能 ×：設定不可

		ファインモード	ノーマルモード	メールモード*
特長		細部を詳細に表現	標準的な画質	ファイル容量100KB以下で保存
メール添付	SXGAサイズ	○	○	○
	UXGAサイズ	△	○	×
	ワイドサイズ	△	△	×
	QXGAサイズ	△	△	×

※メールモードは、画質よりデータサイズ（圧縮）が優先されるため、画質が粗くなる場合があります。

データサイズについて

データフォルダがお買い上げ時の状態で、すべての撮影／録画を同じモードおよび録画時間で行った場合、撮影可能枚数／録画可能件数は以下ようになります。ただし、撮影／録画状況により、以下の数値より増減することがあります。

フォト

撮影モード／フォト画質		画像サイズ (横×縦、ドット)	1枚あたりの データサイズ*	撮影可能枚数 データフォルダ	
ケータイ モード	フォトメールサイズ	120×160	約9KB (9KB)	5,000枚	
	壁紙サイズ	240×320	約30KB (25KB)	5,000枚	
	WVGA壁紙サイズ	480×800	約100KB (96KB)	5,000枚	
PC モード	VGAサイズ	640×480	100KB以下 (99KB)	5,000枚	
	SXGAサイズ	1,280×960	ファインモード	500KB以下 (350KB)	1,918枚
			ノーマルモード	300KB以下 (190KB)	3,070枚
			メールモード	100KB以下 (71KB)	5,000枚
	UXGAサイズ	1,600×1,200	ファインモード	1,100KB以下 (580KB)	852枚
			ノーマルモード	500KB以下 (320KB)	1,918枚
	ワイドサイズ	2,048×1,232	ファインモード	1,300KB以下 (740KB)	731枚
			ノーマルモード	800KB以下 (400KB)	1,180枚
	QXGAサイズ	2,048×1,536	ファインモード	1,500KB以下 (850KB)	639枚
			ノーマルモード	1,100KB以下 (480KB)	852枚

※ () は1枚あたりのデータサイズの平均値です。

- ・microSDカードを挿入したときの撮影可能枚数については、「フォトの撮影可能枚数およびデータサイズ (目安)」(P.429) をご参照ください。

ムービー

録画モード	画像サイズ (横×縦、ドット)	録画可能 時間	1件あたりの データサイズ	録画可能件数 データフォルダ
標準Sモード ^{※1}	96×80	15秒	約69KB	5,000件
標準Mモード ^{※1}	128×96	15秒	約83KB	5,000件
高品質Mモード ^{※1}		15秒	約145KB	5,000件
高品質Lモード ^{※1}	176×144	15秒	約145KB	5,000件
QVGAモード	320×240	120分	約360MB	最大約120分 ^{※2}
VGAモード	640×480	60分	約906MB	最大約60分 ^{※2}

※1 データサイズと録画可能件数は、ムービー1件あたり15秒録画した場合の平均的な数値です。

※2 データフォルダのメモリ使用状況により異なります。

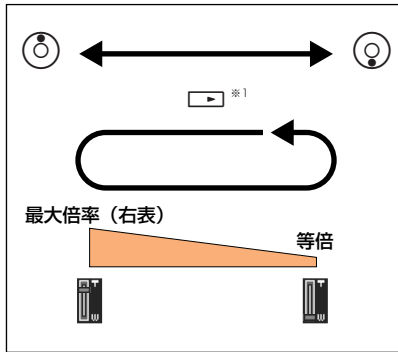
- ・microSDカードを挿入したときの録画可能件数については、「ムービーの録画可能件数およびデータサイズ (目安)」(P.429) をご参照ください。

撮影時の操作について

撮影前のモニタ画面表示中やムービー録画中にズームを利用したり、明るさを調整することができます。

ズームを利用する

モニタ画面表示中やムービー録画中に \odot や \square を押すと、画像を拡大することができます（ズーム調整）。ズームの倍率はモード（サイズ）によって異なります。



※1 \square を1秒以上長く押すと連続して倍率を調整できます。ただし、最大倍率および等倍で一度停止します。 \square を押して直してください。

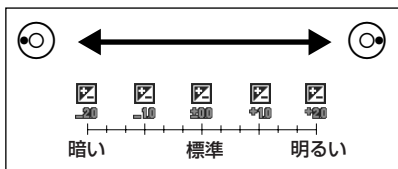
※2 ズームは使用できません。

モード		最大倍率／段階	
フォト	ケータイモード	フォトメールサイズ	12.8倍／29段階
		壁紙サイズ	6.4倍／23段階
		壁紙サイズ（連写）	3.2倍／23段階
		WVGA壁紙サイズ	2.6倍／12段階
	PCモード	WVGA壁紙サイズ（連写）	1.3倍／7段階
ムービー	ケータイモード	VGAサイズ	3.2倍／12段階
		SXGAサイズ	1.6倍／7段階
		UXGAサイズ	1.3倍／4段階
		ワイドサイズ／QXGAサイズ	等倍のみ ^{※2}
		標準Sモード	7.8倍／29段階
		標準Mモード	7.8倍／29段階
ムービー	ケータイモード	高品質Mモード	7.8倍／29段階
		高品質Lモード	5.2倍／29段階
		QVGAモード	3.2倍／23段階
		VGAモード	等倍のみ ^{※2}

・カメラ機能を終了すると、ズームは「等倍」に戻ります。

明るさを調整する

モニタ画面表示中やムービー録画中に \odot を押すと、画像の明るさを調整できます（13段階）。



・カメラ機能を終了すると、明るさは「標準（±0.0）」に戻ります。

モバイルライトを点灯させる

モニタ画面表示中に \square を押すと、モバイルライトが点灯します。もう一度押すと消灯します。

撮影中の表示について

撮影中の画面について

撮影中の表示には「モニタ画面」と「プレビュー画面」があります。

モニタ画面	カメラ機能を起動し撮影するまでの画面
プレビュー画面	撮影後の状態

※プレビュー画面の状態ではデータは保存されていません。

- ・モニタ画面表示中に を押すとムービーモードとフォトモードを切り替えることができます。
- ・モニタ画面表示中に を押すと、ボタン操作のガイド画面が約15秒間表示されます。

アイコンの見かた

フォトモード画面



ムービーモード画面



※上記表示例はセルフタイマー撮影時のものです。

GPS情報表示

: 付加あり 非表示: 付加なし

microSDカード表示

: 挿入中 (保存先: 本体)
 : 挿入中 (保存先: microSDカード)
 非表示: 未挿入

カメラモード表示

: フォトモード : ムービーモード

撮影モード表示

: フォトメートルサイズ
 : 壁紙サイズ
 : 壁紙サイズ (連写モード)
 : WVGA壁紙サイズ
 : WVGA壁紙サイズ (連写モード)
 : VGAサイズ
 : SXGAサイズ
 : UXGAサイズ
 : ワイドサイズ
 : QXGAサイズ

フォト画質表示

: ファインモード
 非表示: ノーマルモード
 : メールモード

連写速度表示

: はやい : ふつう : おそい
 : マニュアル

10000 : 残りの撮影可能枚数表示

: AFフレーム

: モバイルライト表示

フォーカス設定表示 (マクロモード表示)

非表示: オートフォーカス
 : マクロ固定 : 遠景固定

セルフタイマー表示

非表示: OFF
 : 10秒 : 5秒 : 2秒

撮影シーン (フォト) / 色調調整 (ムービー)

非表示: OFF
 : 美肌* : 美白* : 日焼け*
 : 風景* : 夜景* : ナイト*
 : グルメ* : パーティー* : 文字*
 : 雪* : あざやか : あっさり

※撮影シーン (フォト) 設定時のみ表示されます。

ホワイトバランス表示

非表示: オート
 : 太陽光 : くもり
 : 蛍光灯 (昼光色) : 蛍光灯 (昼白色)
 : 白熱灯

: 手振れ軽減

: 明るさ表示

: ズーム表示

: ガイド表示


録画モード表示

: 標準S : 標準M
 : 高品質M : 高品質L
 : QVGAモード : VGAモード

録画状態表示

■ Standby : 停止中 ■ Pause : 一時停止中
● REC : 録画中 ● AF1 : アフレコ編集中

録画音声表示

非表示 : 音声あり  : 音声なし

録画時間バー表示

サイドキー操作ガイド

 : サイドキー1  : サイドキー2
 : カメラキー

データの保存先について

microSDカードの有無と撮影／録画モードによって、保存先が変更されます。保存先は以下の通りです。microSDカード内のフォルダについては、「フォルダについて」(P.172)および「パソコン上で表示されるmicroSDカードのフォルダ構成について」(P.180)をご参照ください。

撮影／録画モード		microSDカードなし	microSDカードあり	
フォト	ケータイモード	フォトメールサイズ	本体・データフォルダ内「フォトフォルダ」	
		壁紙サイズ		
		WVGA壁紙サイズ		
	PCモード	VGAサイズ	本体・データフォルダ内「フォトフォルダ」	microSDカード・データフォルダ内「デジカメフォルダ」
		SXGAサイズ		
		UXGAサイズ		
		ワイドサイズ		
	QXGAサイズ			
ムービー	標準S/Mモード	本体・データフォルダ内「ムービーフォルダ」	本体・データフォルダ内「ムービーフォルダ」	
	高品質M/Lモード		microSDカード・データフォルダ内「ムービーフォルダ」	
	QVGAモード		microSDカード・データフォルダ内「ムービーフォルダ」	
	VGAモード		本体・データフォルダ内「ムービーフォルダ」	

- ・ microSDカードを挿入している場合でも、microSDカードの空き容量によっては本体に保存される場合があります。また、QVGAモードで録画する際にmicroSDカード、本体ともに空き容量が少ない場合は録画できませんので既存のデータを削除してください。
- ・ microSDカードのデジカメフォルダには「100KTS3E」という名称のサブフォルダが作成され、撮影したデータが保存されます。

フォトやムービーをEメールで送信する

フォトメールサイズや、壁紙サイズで撮影したあとや、標準S/Mモード、高品質M/Lモードで録画したあとに、プレビュー画面で[Eメール]を押すと、データが添付されたEメール／デコレーションメールを作成できます。

- ・ フォトやムービーを添付すると、自動的にデータフォルダへデータが保存されます。
- ・ 添付データのサイズが500KBを超えた場合は、添付することはできません。
- ・ 撮影した画像をEメールに添付すると、送信先の携帯電話によっては表示できない場合があります。送信先の携帯電話の再生可能サイズにトリミングしたり、リサイズしてEメール添付することをおすすめします。
- ・ 連写モードで撮影した場合、添付できるフォトは、Eメール／デコレーションメール1件につき1枚です。
- ・ 標準Mモード、高品質M/Lモードで録画したムービーは、送信先の相手の携帯電話によっては表示されない場合があります。
- ・ QVGAモードやVGAモードで録画したムービーは添付できません。
- ・ ご使用エリアの電波状況によって、Eメール／デコレーションメールの送受信に時間がかかる場合があります。

フォトを撮影する

撮影したフォトは、JPEG形式で保存されます。

フォトを撮影する

1 [] (1秒以上長押し)

モニタ画面が表示されます。

▶ [] ⇒ 「カメラ」 ⇒ [] ⇒ 「フォト」 ⇒ [] を押してもモニタ画面を表示できます。

2 被写体にAFフレームをあわせる⇒ [] (撮影)

自動的にピントがあい、フォトが撮影されます。

▶ [] または [] を使うと、被写体にピントをあわせる操作と、撮影する操作を分けることができます。

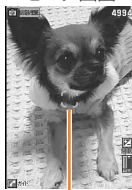
3 [] (保存)

撮影したフォトが「フォトフォルダ」に保存されます。

▶ 撮影したフォトを振り直す場合は、[] を押します。

▶ [] を押すと画像を90度ごとに回転できます。ただし、PCモードのフォトは回転できません。

モニタ画面



AFフレーム

プレビュー画面



オートフォーカスを設定したときの撮影操作について

被写体にAFフレームをあわせて撮影します。撮影方法には、1つの操作でピントをあわせて撮影する方法と、ピントをあわせる操作と撮影する操作を分ける方法があります。

1つの操作でピントをあわせて撮影するには	[] (撮影)
ピントをあわせる操作と、撮影する操作を分けるには	<p>[] を半押ししてピントをあわせ、[] を押し込んで (全押し) 撮影します。ピントをあわせると、音が鳴りAFフレームの色が変わります。 緑色：被写体にピントがあいました。 赤色：被写体にピントがあいませんでした。</p> <p>▶ [] を半押ししてピントをあわせた場合は、撮影前に指を離すと、ピントあわせが解除されます。 ▶ [] を押ししてピントをあわせ、[] (撮影) を押して撮影することもできます。この場合は、撮影前に [] を押すと、ピントあわせが解除されます。</p>

- ・セルフタイマー設定時は、設定時間経過後に自動的にピントをあわせて撮影します。
- ・サイドキーを使って操作することもできます。

キー操作	モニタ画面	プレビュー画面	確認画面
[]	・モバイルライトの点灯/消灯 ・カメラ機能終了 (1秒以上長押し)	・撮り直し ・終了確認画面の表示 (1秒以上長押し)	・戻る ・終了 (1秒以上長押し)
[]	ズームイン/ズームアウト	Eメール添付	—
[]	撮影	撮影したフォトの保存	決定

- ・カメラ起動時の撮影モードは前回終了したときの撮影モードです。なお、連写設定は解除されます。
- ・タイトルは、撮影モードにより以下ようになります。

ケータイモード	YYMMDD_hhmm'XX (保存した年月日_時間_連番)
PCモード	TS3EXXXX (TS3E+半角数字の連番)

- ・プレビュー画面で約60秒間操作をせずに待受画面に戻った場合は、待受画面に「[] / [] 未保存あり」が表示されます。次にカメラ機能を起動したときは、未保存の画像のプレビュー画面が表示されます。ただし、電源をOFFにした場合は、未保存の画像は消去されます。

- ・ フォト撮影のモニタ画面およびプレビュー画面で表示されるサブメニューは以下の通りです。ただし、画面によって表示される項目が異なります。

撮影モード	撮影モードの変更	
撮影シーン	撮影シーンを設定	
スタンプ	フォトにスタンプを合成 (画像編集)	
日付スタンプ	日付スタンプの設定	
フレーム	フレームの合成	
フォト画質	画質の設定	
画像編集	フォトを加工	
EZナビ/GPS情報	GPS情報の付加	
バーコードリーダー	バーコードリーダーの起動	
全保存	連写撮影したすべての画像を1枚ずつ保存	
インデックス保存	連写撮影したすべての画像をまとめて1枚の画像に保存	
カメラ設定…	フォーカス設定	フォーカスの設定
	特殊効果	セピア調やモノクロで撮影
	シャッター音	シャッター音の設定
	地域設定	フリッカー調整の設定
連写設定	手振れ軽減	手振れ軽減の設定
	連写起動	連写モードに切り替え
	連写速度	連写速度の設定
	連写枚数	連写枚数の設定
セルフタイマー	セルフタイマーの利用	
ホワイトバランス	ホワイトバランスの調整	
撮影データ確認	撮影したフォトを確認	
フォルダ使用状況	フォト保存先のデータフォルダの使用状況を確認	

連写撮影する

連続してフォトを撮影することができます (連写モード)。連写速度や連写枚数 (9枚/4枚) は変更できます。

1 (1秒以上長押し) ⇒ サブメニュー ⇒ 「撮影モード」 ⇒ ⇒ 「ケータイモード」 ⇒

2 「壁紙」 / 「WVGA壁紙」 ⇒ ⇒ サブメニュー ⇒ 「連写設定」 ⇒ ⇒ 「連写起動」 ⇒ ⇒ 「ON (連写モード)」 ⇒

モニタ画面に連写速度のアイコンと連写枚数が表示されます。

3 被写体にAFフレームをあわせる ⇒ (撮影)

自動的にピントがあり、連写撮影されます。オート連写の場合は、1枚目でピントをあわせると、残りのフォトも同じピントで撮影します。マニュアル連写の場合は、 (撮影) を押すたびに1枚ずつピントをあわせなおして撮影します。

※ または を使うと、被写体にピントをあわせる操作と、撮影する操作を分けることができます。

※ マニュアル連写の場合、 を押すと、連写撮影を中断し、すべての画像を撮り直すことができます。また、 を押すと、連写撮影を終了できます。

4 保存したい画像を選ぶ ⇒ (表示) ⇒ (保存)

ほかの画像を保存する場合は、操作を繰り返します。

※ 撮影した画像を撮り直す場合は、 ⇒ 「はい」 ⇒ を押します。

※ すべての画像を1枚ずつ保存するには、 ⇒ 「全保存」 ⇒ を押します。

※ すべての画像をまとめて1枚の画像にするには、インデックス保存を行います。詳しくは、「インデックス保存について」(P.138) をご参照ください。

- ・撮影シーンを設定している場合は、連写起動は設定できません。
- ・マニュアル連写時は、セルフタイマーを使って撮影できるのは1枚目のみです。2枚目以降はセルフタイマーOFFと同じ操作で撮影してください。
- ・連写撮影後に画像編集を行うと、インデックス保存できません。
- ・連写撮影後は、画像編集でフレーム/トリミングを選ぶことができません。
- ・連写設定は、撮影モードが「壁紙」/「WVGA壁紙」のときのみ設定できます。
- ・オート連写で撮影する場合、オート連写専用のシャッター音が鳴ります。

●インデックス保存について

連写撮影終了後、**サブメニュー**⇒「インデックス保存」⇒**●**を押すと、連写撮影したすべての画像をまとめて1枚の画像にすることができます。できあがる画像サイズは、撮影モードや連写設定によって異なります。

壁紙サイズの場合	続けて「撮影サイズ」/「等倍サイズ」⇒ ● を押します。	
	撮影サイズ	1枚にまとめた画像を、壁紙サイズに縮小して保存
	等倍サイズ	1枚にまとめた画像を、そのまま保存 ※microSDカードを挿入している場合は、microSDカードに保存されます。
WVGA壁紙サイズの場合	1枚にまとめた画像を、WVGA壁紙サイズに縮小して保存	

連写速度/連写枚数を設定する

連写撮影時の連写速度と連写枚数を選ぶことができます。

1 **☐** (1秒以上長押し) ⇒ **サブメニュー** ⇒ 「連写設定」 ⇒ **●**

2 「連写速度」 / 「連写枚数」 ⇒ **●**

連写速度	連写速度を設定	
	はやり/ふつう/おそい	撮影時に ● (撮影) を1回押すと、連写枚数分、自動的に撮影 (オート連写)
	マニュアル	撮影時に ● (撮影) を押すごとに1枚ずつ撮影 (マニュアル連写)
連写枚数	連写枚数 (9枚/4枚) を設定	

- ・連写設定は、撮影モードが「壁紙」または「WVGA壁紙」のときのみ設定できます。
- ・撮影モードが「WVGA壁紙」の場合は、連写速度で「はやり」/「ふつう」は選べません。また、連写枚数は4枚になります。連写枚数は変更できません。

撮影したフォトを見る

1 **☐** (1秒以上長押し) ⇒ **サブメニュー** ⇒ 「撮影データ確認」 ⇒ **●**

データフォルダの「フォトフォルダ」が表示されます。

2 フォルダを選ぶ ⇒ **●**






3 確認したいデータを選ぶ ⇒ **●**

撮影時の設定をする

撮影時の機能や画像の特殊効果を設定することができます。



撮影モードを変更する

撮影モードについては、P.131をご参照ください。

- 1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「撮影モード」⇒
- 2 「ケータイモード」 / 「PCモード」⇒
※モニタ画面でを押しても、ケータイモードとPCモードを切り替えることができます。
- 3 撮影モードを選ぶ⇒
モニタ画面に撮影モードのアイコンが表示されます。
※モニタ画面でを押しても、撮影モードを変更することができます。

撮影シーンを設定する

撮影する場所や目的に応じて撮影シーンを設定することができます。

- 1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「撮影シーン」⇒
- 2 設定を選ぶ⇒





OFF	標準の設定
美肌	肌の色を美しく撮影
美白	肌の色を美白のように撮影
日焼け	肌の色を日焼けのように撮影
風景	風景をくっきりと撮影
夜景	夜景をきれいに撮影
ナイト	暗い場所を明るく撮影
グルメ	食品を鮮やかに撮影
パーティー	パーティーなどの薄暗い場所できれいに撮影
文字	文字をくっきりと撮影
雪	雪景色のように明るい場所をきれいに撮影
あざやか	画像の彩度を上げて鮮やかな色調で撮影
あっさり	画像の彩度を下げて落ち着いた色調で撮影

モニタ画面に撮影シーンのアイコンが表示されます。

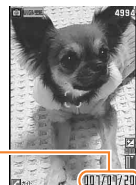
- ・手振れ軽減、特殊効果、連写起動のいずれかを設定している場合は、撮影シーンは設定できません。
- ・カメラ機能を終了すると、撮影シーンは「OFF」に戻ります。

日付スタンプを設定する

ケータイモードで撮影するときは、フォトの右下に日付を合成することができます。

- 1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「日付スタンプ」⇒⇒「文字色設定」⇒
- 2 文字色を選ぶ⇒⇒「ON」⇒
モニタ画面に日付スタンプが表示されます。

日付スタンプ



- ・連写撮影後にインデックス保存したときは、まとめた画像に日付スタンプが合成されます。ただし、「等倍サイズ」で保存した場合は合成されません。

フレームを設定する

フォトの撮影時やムービーの録画時に、固定データのフレーム、EZwebでダウンロードしたフレームを合成し、撮影／録画することができます。

- 1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「フレーム」⇒
- 2 「固定データ」／「データフォルダ」⇒
▶フレームを解除する場合は、「フレームなし」を選びます。
- 3 フレームを選ぶ⇒⇒
フレームが合成されたモニタ画面が表示されます。

- ・フォトの場合、PCモードではフレームを設定できません。
- ・ムービーの場合、VGAモードではフレームを設定できません。
- ・カメラ機能を終了すると、フレームの設定は「フレームなし」に戻ります。

画質を設定する

SXGAサイズ、UXGAサイズ、ワイドサイズ、QXGAサイズで撮影する場合は、フォトの画質をファインモード、ノーマルモード、メールモード（SXGAサイズのみ）から選ぶことができます。

- 1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「フォト画質」⇒
- 2 画質を選ぶ⇒
モニタ画面にフォト画質のアイコンが表示されます。

GPS情報を付加する

撮影したフォト、ムービーにGPS情報を付加することができます。

- 1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「EZナビ／GPS情報」⇒⇒「はい」⇒
- 2 付加するGPS情報を選ぶ⇒
モニタ画面に「」が表示されます。

- ・フォト、ムービーを撮影して保存すると、GPS情報が付加されます。続けて撮影してもGPS情報は付加されません。

フォーカス設定を変更する

- 1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「カメラ設定…」⇒⇒「フォーカス設定」⇒
- 2 設定を選ぶ⇒

オートフォーカス	撮影時にAFフレームを使って、自動的にピントをあわせる
マクロ固定	ピントを10cm程度に固定
遠景固定	ピントを80cm～無限遠に固定

モニタ画面にフォーカス設定のアイコンが表示されます。

▶モニタ画面でを押しても、フォーカス設定を変更することができます。

- ・「マクロ固定」／「遠景固定」に設定すると、AFフレームは表示されません。
- ・「マクロ固定」に設定した場合、約10cmまで被写体に近づいて撮影できます。マクロモードに設定したまま通常の撮影は行わないでください。適切なピントで撮影できません。
- ・カメラ機能を終了すると、フォーカス設定は「オートフォーカス」に戻ります。




特殊効果を設定する

画像をセピア調（古い写真のような色調）やモノクロに加工することができます。

- 1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「カメラ設定…」⇒⇒「特殊効果」⇒
- 2 「セピア」／「白黒」／「OFF」⇒

- ・撮影シーンを設定している場合は、特殊効果は設定できません。
- ・カメラ機能を終了すると、特殊効果の設定は「OFF」に戻ります。

シャッター音を設定する




- 1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「カメラ設定…」⇒⇒「シャッター音」⇒
- 2 シャッター音を選ぶ⇒
 - » [再生]を押すと、シャッター音を確認することができます。

- ・シャッター音は「マナーモード」の設定に関係なく、常に音が鳴ります。音量は変更できません。
- ・シャッター音を設定しても、オート連写で撮影する場合は、オート連写専用のシャッター音が鳴ります。

フリッカー調整を設定する




蛍光灯の近くなどで撮影する場合、現在の地域の周波数を設定して、画面のちらつき（フリッカー）などを軽減することができます。

※お買い上げ時は、「自動補正」に設定されています。

- 1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「カメラ設定…」⇒⇒「地域設定」⇒
- 2 「自動補正」／「東日本（50Hz）」／「西日本（60Hz）」⇒

手振れ軽減を設定する

シャッター速度などを調節することで、手振れを軽減します。


- 1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「カメラ設定…」⇒⇒「手振れ軽減」⇒
- 2 「OFF」／「ON」⇒

モニタ画面に手振れ軽減のアイコンが表示されます。

- ・撮影シーンを設定している場合は、手振れ軽減は設定できません。
- ・室内など、光量が十分でない場所では、手振れ軽減を設定して撮影した画像は、全体的に多少ざらついた感じがしたり解像度が低いように感じる場合があります。
- ・手振れや被写体振れが大きい場合には、手振れ軽減を設定しても効果がない場合があります。
- ・カメラ機能を終了すると、手振れ軽減の設定は「OFF」に戻ります。

セルフタイマーを設定する

セルフタイマーを設定して撮影することができます。撮影時の手振れ防止としても使用できます。



1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「セルフタイマー」⇒


2 「10秒」／「5秒」／「2秒」／「OFF」⇒

モニタ画面にセルフタイマーのアイコンが表示されます。

▶撮影時に（開始）を押すと、設定時間経過後に撮影されます。


- ・セルフタイマーでの撮影時、本体は安定した場所に置いてください。傾いたところやぐらついた台の上などに置くと、落下して故障・破損の原因となります。
- ・セルフタイマーは一度撮影すると「OFF」に戻ります。
- ・セルフタイマーで撮影中は、カメラランプが点滅します。また、以下の操作を行えます。

 （撮影）	カウントダウンを中止して、すぐに撮影
中止	セルフタイマーを「OFF」にして、モニタ画面に戻る
	セルフタイマーを「ON」のまま、モニタ画面に戻る

- ・オートフォーカス設定中にセルフタイマーを設定した場合は、（開始）を押すと設定時間経過後に自動的にピントが合い、撮影されます。
- ・セルフタイマーで撮影する場合、セルフタイマー専用のシャッター音（録画開始音／録画終了音）が鳴ります。

ホワイトバランスを調整する


撮影時の場所の明るさや状況の違いによって、画像の色合いが実際の色合いとは異なって撮影されてしまう場合があります。そのような場合に、実際の色合いに近づけるようにモニタ画面でホワイトバランスを調整することができます。

1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「ホワイトバランス」⇒

2 調整値を選ぶ⇒

オート	標準の設定
太陽光	屋外晴天下での撮影用
くもり	屋外曇天下での撮影用
蛍光灯（昼光色）	屋内蛍光灯（昼光色）下での撮影用
蛍光灯（昼白色）	屋内蛍光灯（昼白色）下での撮影用
白熱灯	屋内白熱電球下での撮影用

モニタ画面にホワイトバランスのアイコンが表示されます。

▶モニタ画面でを押しても、ホワイトバランスを調整することができます。

- ・カメラ機能を終了すると、ホワイトバランスは「オート」に戻ります。

ムービーを録画する

標準S/MモードはAMC形式、高品質M/Lモードは3GP形式、QVGAモードとVGAモードは3G2形式で保存されます。

ムービーを録画する

📷 ▶ カメラ ▶ 🎥 ▶ ムービー

1 画面に被写体を表示⇒📷 (録画)

録画開始音が鳴り、録画が開始され、画面に「REC」が表示されます。
 ※ [📷] を押しと、一時停止します。録画を再開するときは [📷] を押しします。

2 📷 (停止) または録画時間経過

※ 録画をやり直す場合は、[📷] ⇒ 「はい」 ⇒ 📷 を押しします。
 ※ 録画したムービーを保存前に再生する場合は、[📷メニュー] ⇒ 「再生」 ⇒ 📷 を押しします。

3 📷 (保存)

・ サイドキーを使って操作することもできます。

キー操作	モニター画面 (録画前)	モニター画面 (録画中)
[📷]	・ モバイルライトの点灯/消灯 ・ カメラ機能終了 (1秒以上長押し)	・ 取り消し確認画面の表示 ・ 終了確認画面の表示 (1秒以上長押し)
[📷]	ズームイン/ズームアウト	ズームイン/ズームアウト
[📷]	録画開始	録画終了

キー操作	プレビュー画面 (停止中)	プレビュー画面 (再生中)	確認画面
[📷]	・ 取り消し確認画面の表示 ・ 終了確認画面の表示 (1秒以上長押し)	・ プレビュー再生終了 ・ 終了確認画面の表示 (1秒以上長押し)	・ 戻る ・ カメラ機能終了/終了確認画面の表示 (1秒以上長押し)
[📷]	Eメール添付	一時停止/再開	-
[📷]	録画したムービーの保存	プレビュー再生終了	決定

- ・ カメラ起動時の録画モードは前回終了したときの録画モードです。
- ・ 録画モードによって決められた録画時間が経過すると録画終了音が鳴り、録画が停止します。
- ・ タイトルは、録画モードにより以下ようになります。

標準Sモード	S_YYMMDD_hhmm'XX (S_保存した年月日_時間_連番)
標準Mモード、高品質M/Lモード	YYMMDD_hhmm'XX (保存した年月日_時間_連番)
QVGAモード、VGAモード	YYMMDD_hhmm'SS (録画を開始した年月日_時間_秒数*)

※ 本体のデータフォルダに保存された場合は連番になります。
 ・ プレビュー画面で約60秒間操作をせずに待受画面に戻った場合は、待受画面に「📷/📷未保存あり」が表示されます。次にカメラ機能を起動したときは、未保存の画像のプレビュー画面が表示されます。ただし、電源をOFFにした場合は、未保存の画像は消去されます。

カメラ

ムービー録画のモニタ画面およびプレビュー画面で表示されるサブメニューは以下の通りです。ただし、画面によって表示される項目が異なります。

録画モード	録画モードの変更	
再生	録画したムービーを保存前に再生	
録画音声	録画音声の設定	
プレビュー設定	プレビュー方法の設定	
ムービー編集	テロップ編集	文字の合成
	アフレコ編集	音声の合成
フレーム	フレームの合成	
拡大表示	表示サイズの設定	
EZナビ/GPS情報	GPS情報の付加	
カメラ設定	マクロ切替	マクロモードに切り替え
	プレビュー設定	プレビュー方法の設定
	色調調整	画像の彩度を調整
	特殊効果	セピア調やモノクロで撮影
	録画開始/終了音	録画開始音/録画終了音の設定
	地域設定	フリッカー調整の設定
セルフタイマー	セルフタイマーの利用	
ホワイトバランス	ホワイトバランスの調整	
撮影データ確認	撮影したムービーを確認	
フォルダ使用状況	ムービー保存先のデータフォルダの使用状況を確認	

録画したムービーを見る

① ▶ カメラ ▶ ムービー

- 1 **サブメニュー** ⇒ 「**撮影データ確認**」 ⇒ ●
データフォルダの「ムービーフォルダ」が表示されます。
- 2 **フォルダを選ぶ** ⇒ ●
- 3 **確認したいデータを選ぶ** ⇒ ●

録画時の設定をする

録画時の音声あり/なしや録画時の機能を設定できます。以下の機能は、フォトの撮影時と同様の操作で設定できます。

- フレーム
- EZナビ/GPS情報
- 特殊効果
- 地域設定（フリッカー調整）
- セルフタイマー
- ホワイトバランス

録画モードを変更する

録画モードについては、P.131をご参照ください。


① ▶ カメラ ▶ ムービー

- 1 **モニタ画面を表示** ⇒ **サブメニュー** ⇒ 「**録画モード**」 ⇒ ●
- 2 **録画モードを選ぶ** ⇒ ●
モニタ画面に録画モードのアイコンが表示されます。
▶ モニタ画面で \square を押しても、録画モードを変更することができます。

録画音声を設定する

◎ ▶ カメラ ▶ ムービー

- 1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「録画音声」⇒◎
- 2 「音声あり」／「音声なし」⇒◎

「音声なし」に設定すると、モニタ画面に「」が表示されます。

・録画音声は一度録画する、またはムービー機能を終了すると「音声あり」に戻ります。

拡大表示を設定する

録画時やプレビュー再生時の表示サイズを設定することができます。

◎ ▶ カメラ ▶ ムービー

- 1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「拡大表示」⇒◎
- 2 表示方法を選ぶ⇒◎

▶モニタ画面（録画開始前のみ）またはプレビュー画面で \square を押しても、表示を切り替えることができます。

・VGAモードでは、拡大表示は設定できません。

マクロモードに切り替える

◎ ▶ カメラ ▶ ムービー

- 1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「カメラ設定」⇒◎⇒「マクロ切替」⇒◎

マクロモードに切り替えると、モニタ画面にマクロ固定のアイコンが表示されます。

▶モニタ画面（録画前、録画一時停止中）で \square を押しても、マクロモードに切り替えることができます。

・「マクロ固定」に設定した場合、約10cmまで被写体に近づいて撮影できます。マクロモードに設定したまま通常の撮影は行わないでください。適切なピントで撮影できません。
・ムービー機能を終了すると、「通常録画」に戻ります。

プレビューを設定する

録画終了直後に、ムービーを自動再生するか手動再生するかを設定します。

◎ ▶ カメラ ▶ ムービー

- 1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「カメラ設定」⇒◎⇒「プレビュー設定」⇒◎
- 2 プレビュー方法を選ぶ⇒◎

・QVGAモード、VGAモードでは、プレビュー設定できません。

色調を調整する

画像の彩度を調整することができます。

① ▶ カメラ ▶ ムービー

1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「カメラ設定」⇒●⇒「色調調整」⇒●

2 色調を選ぶ⇒●

標準	標準の設定
あざやか	画像の彩度を上げて鮮やかな色調に設定
あっさり	画像の彩度を下げて落ち着いた色調に設定

モニタ画面に色調のアイコンが表示されます。

・カメラ機能を終了すると、色調は「標準」に戻ります。

録画開始音／録画終了音を設定する

① ▶ カメラ ▶ ムービー

1 モニタ画面を表示⇒サブメニュー⇒「カメラ設定」⇒●⇒「録画開始／終了音」⇒●

2 録画開始音／終了音を選ぶ⇒●

» [再生]を押すと、録画開始音／終了音を確認することができます。

・録画開始音／終了音は「マナーモード」の設定に関係なく、常に音が鳴ります。音量は変更できません。